

# 草の根 通信

VOLUME  
126

*Kusanone Tsushin*

[2026年3月発行]

St. Thomas  
of Villanova University

©ビラノバ大学

Elfreth's Alley

Founding Fathers

©PHLCVB

©PHLCVB

特集

寄稿 ローマ教皇レオ14世 — アメリカ合衆国ビラノバ大学の卒業生  
アメリカ独立・建国への道 第2弾

- ・サンフランシスコ・ベイエリア大会 ホストファミリーの感想
- ・フィラデルフィア大会参加をより楽しむためのプチ知識



2025年、カトリック教会に新たな歴史が刻まれました。アメリカ合衆国出身として初めてローマ教皇に選出された教皇レオ14世。その学び舎であるビラノバ大学は、聖アウグスチヌスの精神を礎に、信仰と理性の調和を追求してきたカトリック大学です。フィラデルフィア大会のクロージング式典は、このビラノバ大学キャンパス内の施設を会場として開催され、国や世代を越えて集う参加者一人ひとりが、世界平和への願いを新たにします。教皇レオ14世の歩みと精神に触れながら、草の根の交流が未来へとつながっていく——その象徴的な舞台として、ビラノバ大学は大きな意味を持っています。

# ローマ教皇レオ14世

## — アメリカ合衆国ビラノバ大学の卒業生



ローマ教皇レオ14世 ©ビラノバ大学

著者：浜田 昌子 氏

レオ14世(Leo XIV)は、2025年5月8日に第267代ローマ教皇に選出され、現在、カトリック教会の首長として、またバチカン市国の元首としてその任に就いています。

1955年9月14日生まれ。本名はロバート・フランシス・プレヴオスト(Robert Francis Prevost)。父は教育者、母は図書館司書として働いていました。アメリカ合衆国イリノイ州シカゴの出身で、幼少期はシカゴ市内の聖マリア被昇天教会に通い、家族と共に信仰生活を送りながら育ちました。

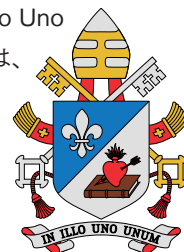
高校時代は聖アウグスチヌス修道会系の学校で学び、その後、ペンシルベニア州にあるカトリック系のビラノバ大学に進学しました。ビラノバ大学の学長であるピーター・ドンヒュー神父・博士は、教皇レオ14世とは、ビラノバ大学時代に同じキャンパスで学んだ間柄です。その人物像について、次のように紹介しました。

「ローマ教皇レオ14世は、1977年にビラノバ大学で数学の学位を取得し、2014年には名誉文科博士号を授与されました。1978年に聖アウグスチヌス修道会に入会し、1982年にはシカゴのカトリック進学連合において神学修士号を取得、同年に司祭に叙階されています。その後、ローマの聖トーマス・アウグスチヌス教皇庁大学で研鑽を積み、1987年に博士号を取得しました。ビラノバ大学は、聖アウグスチヌスの教えを基盤として創立された大学であり、信仰と理性との関係—すなわち精神性と知性の深い理解—を教育の柱としています。」

2025年9月には、ビラノバ大学クォーター・クラブ主催による「教皇レオ14世を語る会」が大学併設ホテルで開催され、大学時代の指導教官や同級生が集いました。出席者からは、「真面目で誠実な人柄」「学問においても非常に優秀な学生であった」と、当時の思い出が語られました。

宣教師としては、アメリカ国内での活動に加え、1985年から1998年にかけて南米ペルーの聖アウグスチヌス修道会に派遣され、長年にわたり宣教と司牧に尽力しました。聖アウグスチヌス修道会出身者としても、初めてローマ教皇に選出された人物です。

教皇は就任に際して紋章<sup>①</sup>を掲げます。レオ14世の紋章は、中央が斜めに分かれ、左上には青地に白銀の聖母マリアを象徴するフルール・ド・リス、右下部には白地に、聖アウグスチヌス修道会を象徴する「赤い矢に射抜かれた心臓と閉じられた書物」が配されています。モットーである「In Illo Uno Unum (唯一のお方の中に、われらは一)」は、聖アウグスチヌスの言葉に由来しています。



教皇レオ14世の紋章 Coat of arms of Pope Leo XIV  
I, SajoR, CC BY-SA 2.0 ウィキメディア・コモンズ経由

2008年には、長崎市で行われた「ペトロ岐部と187 殉教者<sup>②</sup>」の列福式に、聖アウグスチヌス修道会<sup>③</sup>総長として出席しました。また、2025年5月18日にバチカンのサン・ピエトロ広場で執り行われた就任ミサでは、「世界の連帯と友愛の小さなパン種になりたい」と述べ、世界平和への祈りと呼びかけを行いました。

英語、スペイン語、イタリア語、フランス語、ポルトガル語、ドイツ語を話し、ラテン語を読むこともできる、語学力にも優れた教皇です。

参考資料：

<https://www1.villanova.edu/university/pope-leo-xiv.html>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AC%E3%82%AA14%E4%B8%96>

[https://en.wikipedia.org/wiki/Pope\\_Leo\\_XIV](https://en.wikipedia.org/wiki/Pope_Leo_XIV)



ビラノバ大学学長ピーター・M・ドンヒュー氏(左)が、2014年卒業式においてロバート・プレヴオスト司教(ローマ教皇レオ14世)に名誉博士号を授与した。 ©ビラノバ大学

## キーワード解説

### keyword ①

#### ローマ教皇の紋章

— 教皇一人ひとりの信仰と使命を映す象徴 —

ローマ教皇の紋章は、新しい教皇が選出されるたびに新たに定められ、その都度異なる意匠が用いられます。この伝統は中世後期に始まり、教皇は自身の出身背景、神学的な考え方、深い信仰を寄せる聖人などを反映した、個人的な紋章を掲げてきました。

紋章は単なる装飾ではなく、教皇としての使命や価値観を象徴的に示す「視覚のメッセージ」ともいえる存在です。色彩や図像、モットーに込められた意味を読み解くことで、その教皇がどのような姿勢で教会と世界に向き合おうとしているのかを知る手がかりとなります。

参考： [https://en.wikipedia.org/wiki/Papal\\_coats\\_of\\_arms](https://en.wikipedia.org/wiki/Papal_coats_of_arms)



### keyword ②

#### 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者 記念日(7月1日)

— 世界へと歩み出た日本人司祭と、信仰を貫いた人びと —

ペトロ岐部（1587年—1639年）は、安土桃山時代から江戸時代初期にかけて活躍した日本人カトリック司祭です。司祭となるためにローマを目指し、途中、日本人として初めてエルサレムを訪れるなど、近世初頭の日本人の中でも最も広く世界を旅した人物の一人とされています。

「ペトロ岐部と187殉教者」とは、1603年から1639年にかけて、日本各地で信仰を理由に命を落とした司祭、修道者、信徒たち188名を指します。2008年、長崎市で行われた列福式において、カトリック教会の「福者」として列せられました。彼らの生き方は、信仰の自由や人間の尊厳を静かに問いかけ、現代にも深い示唆を与えています。

参考：

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ペトロ岐部と187殉教者>  
<https://www.cbj.catholic.jp/catholic/saintbeato/kibe187/>



「ペトロ岐部と187殉教者」

出典：宗教法人 カトリック中央協議会・三枚樺ず子

### keyword ③

#### 聖アウグスチヌス修道会 — 信仰と理性の調和を重んじる修道会 —



聖アウグスチヌス修道会の紋章

聖アウグスチヌス修道会は、4世紀の神学者・哲学者である聖アウグスチヌスの思想と霊性を基盤とするカトリック修道会です。共同生活、学び、奉仕を重視し、「信仰と理性の調和」を重要な価値として掲げてきました。

この修道会は、教育、宣教、司牧活動を通じて世界各地で活動しており、多くの大学や教育機関の設立にも関わっています。ピラノバ大学もその精神を受け継ぐ大学の一つです。教皇レオ14世は、この聖アウグスチヌス修道会出身者として初めてローマ教皇に選出され、修道会の伝統と精神を世界に示す存在となっています。

参考： <https://ja.wikipedia.org/wiki/聖アウグスチヌス修道会>



ピラノバ教会 ©ピラノバ大学

#### 【著者紹介】

#### 浜田 昌子 氏

教育学博士 (Ed. D.)

ピラノバ大学名誉教授 (日本語・日本文化論)  
元ピラノバ大学アジア研究プログラムディレクター  
フィラデルフィア日米協会アドバイザー理事

30年余りの教育者人生を経て、現在は日米の文化交流ボランティアや歴史研究に従事。欧米や日本を歴訪し、歴史の知見を深める活動を続けている。その豊かな知見を活かし、本年10月開催の「第33回日米草の根交流サミット2026フィラデルフィア大会」では、ホスト団体理事、ならびに「メインライン」分科会の中核として、開催に向けた多大なるお力添えをいただいている。

前回のストーリー

17世紀初頭、ヨーロッパからアメリカへ自由と希望を胸に新天地を切り拓いた人々は、やがて重税と統制に苦しみ、本国イギリスへの信頼を失っていった。抵抗の芽は怒りへと変わり、植民地は連帯して自由を求める道を歩み始める。

自由の鐘

第2回 植民地の苦悩と自由への決意 — 革命の鐘が鳴るとき

1774年、ボストン茶会事件に激怒したイギリス議会は、マサチューセッツの自治を停止し、港を封鎖するなどの一連の強硬策をとった。これが植民地の人々から「耐えがたい法 (Intolerable Acts)」と呼ばれた法律である。イギリス本国の支配が暴政として意識されるようになると、13植民地はついに一致して行動を起こす決意を固めた。

その年の9月、フィラデルフィアに各植民地の代表が集まり、第1回大陸会議 (First Continental Congress) が開かれた。議会はイギリス製品の輸入を停止し、植民地の権利を訴える決議を採択。まだ独立を公に主張する段階ではなかったが、アメリカとしての連帯が初めて明確な形を取った瞬間だった。

翌1775年、バージニアの政治家パトリック・ヘンリーが議会で「自由を我に与えよ、さもなければ死を! (Give me liberty, or give me death!)」と叫んだ演説は、人々の胸に火をつけた。同じ頃、マサチューセッツ

では緊張が高まり、ついに4月19日、レキシントンとコンコードで英軍と植民地民兵が衝突した。これがアメリカ独立戦争の最初の戦いである。伝令ポール・リビアが夜の街道を駆け抜け、「イギリス軍が来る!」と叫んだ逸話は、いまでも自由の象徴として語り継がれている。

戦火が広がる中、1775年5月には第2回大陸会議が開かれ、ジョージ・ワシントンが植民地軍の総司令官に任命された。最初は和解を模索する声もあったが、イギリス国王ジョージ3世がその嘆願を拒絶したことで、独立を求める機運が一気に高まった。

1776年、トマス・ジェファソンを中心とする起草委員会が「独立宣言 (Declaration of Independence)」の草案を作成。同年7月4日、フィラデルフィアの独立記念館で採択され、アメリカはついにイギリスからの離脱を宣言した。その文面は、「すべての人は平等に創られ、創造主によって生命・自由・幸福追求の権利を与えられている」と

高らかに謳い、人類史に残る自由の理念を世界に示した。

署名したのは13植民地の代表56名。彼らは反逆者として命を狙われる危険を承知で、自らの名を記した。その決意と勇気は、いまでもフィラデルフィアの独立記念館に保管された原本から静かに語りかけてくる。自由とは、戦いの果てに勝ち取るものではなく、信念によって築かれるもの——。

1776年の夏、アメリカの精神は、まさにこの信念の中で生まれた。



「自由を我に与えよ、さもなければ死を!」  
—パトリック・ヘンリーがバージニア議会において植民地の権利を訴える偉大な演説を行う様子

歴史のポイント

1774 September

第1回大陸会議 — 団結のはじまり

1774年9月、フィラデルフィアにジョージアを除く12の植民地代表が集まり、イギリスの圧政に対抗するための会議を開催。独立の宣言には至らなかったものの、「権利の宣言」を採択し、互いに協力して抵抗する方針を確認した。これが後のアメリカ合衆国議会の原型となる。

1775 March

パトリック・ヘンリーの名演説

バージニア植民地の弁護士であり政治家のパトリック・ヘンリーは、1775年3月の議会で「Give me liberty, or give me death! 自由を与えよ、さもなければ死を!」と叫んだ。この一言は、議場を静まり返らせるほどの熱を帯び、人々を決意へと導いた。独立前夜、言葉の力が国を動かした象徴的瞬間であった。

1775 April

レキシントン・コンコードの戦い

1775年4月19日、英軍が武器の押収に向かったところ、レキシントンで民兵と衝突。最初の一発が放たれ、「世界を変えた銃声 (the shot heard around the world)」と呼ばれる戦争の幕が開いた。農民や職人たちが祖国のために立ち上がったこの戦いは、自由のための闘いの象徴となった。





## でわかる「13 植民地」

### Q1. 「13 植民地」とは何ですか？

A. 17～18 世紀に、イギリスが北アメリカ東海岸に築いた 13 の植民地の総称です。後のアメリカ合衆国の出発点となりました。

### Q2. 13 植民地はどこにあったのですか？

A. 現在のアメリカ合衆国東海岸沿いに連なっていました。北はニューハンプシャーから南はジョージアまで、大西洋に面した地域です。

◀1775年時のアメリカ植民地領土

### Q3. なぜ 13 だったのですか？

A. 18 世紀半ばまでに、イギリス領として正式に成立していた植民地が 13 でした。内陸部や北方には、まだ他国の支配地域が残っていました。

### Q4. 植民地はすべて同じ性格だったのですか？

A. いいえ。ニューイングランドと呼ばれる北部は信仰と商業、中部は多民族社会、南部は農園経済と、それぞれ異なる特徴を持っていました。

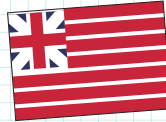
北部植民地 マサチューセッツ、ニューハンプシャー、ロードアイランド、コネチカット

中部植民地 ニューヨーク、ニュージャージー、ペンシルベニア、デラウェア

南部植民地 メリーランド、バージニア、ノースカロライナ、サウスカロライナ、ジョージア

### Q5. それでも連帯できた理由は何ですか？

A. 重税や統制といった本国イギリスの政策が、地域差を超えた共通の不満となったからです。「自由と自治」を守る思いが結びつきました。



▲1775年から1777年まで使用されたイギリス領アメリカの旗（赤と白の13ラインが植民地を表している）

### Q6. 独立宣言後、すぐ国家になれたのですか？

A. いいえ。独立宣言は決意表明にすぎず、その後も戦争や国家制度づくりという試練が続きました。合衆国の完成は、さらに先の出来事です。

## COLUMN

### ベッツィー・ロスと「13 星」の旗



独立期のアメリカを象徴する旗に描かれた「13 星」は、独立を決意した 13 植民地（のちの 13 州）を表している。星が円形に並ぶ意匠は、対等な州が輪となって結ばれる新しい国家の理想を象徴するとされる。

旗の製作を依頼したという逸話は、確かな公文書には残されていないものの、建国期の象徴的な物語として広く知られている。史実と伝承が交差するこのエピソードは、独立という理念が、旗という「かたち」を得て人々の目に見える存在となった瞬間を物語っている。フィラデルフィアは、その象徴が生まれた場所でもあった。



### 「ベッツィー・ロスの家」

フィラデルフィア大会ローカル・ツアーで見学予定！ ▲



この旗の誕生にまつわる物語として語り継がれているのが、フィラデルフィアの裁縫師ベッツィー・ロスである。1776年、ジョージ・ワシントンらが彼女を訪ね、国

「オールド・グローリーの誕生」(1917年頃)  
ベッツィー・ロスがジョージ・ワシントンに「ベッツィー・ロス旗」を献上する場面  
Edward Percy Moran

### <レキシントンとコンコード>

マサチューセッツ州ボストン北西郊外の町。現在は、ミニットマン国立歴史公園などが歴史的な名所として知られている。



▲レキシントン・コンコードの戦い

## 1776 July

### 独立宣言と 56 の署名に込められた覚悟

1776年7月4日、フィラデルフィアの独立記念館で採択された「アメリカ独立宣言」。その末尾には56名の代表者たちの署名が並ぶ。議長ジョン・ハンコックは、誰よりも大きな文字で名を書き、王の目にもはっきり見えるようにと宣言したという。署名とは、単なる賛同の証ではなかった。それはすなわち、祖国イギリスへの反逆を意味し、財産の没収や死刑をも覚悟した行為であった。彼らの中には、のちに戦場で命を落とした者、財産を失った者も少なくなかった。しかし、恐れよりも「自由のために生きる」決意が勝った。彼らの署名は、個人の名を超えて「人民の意志」となり、後世の民主主義の礎となった。今も独立記念館の展示室で、やや色あせたその筆跡を前にすると、一つひとつの署名が当時の熱気と信念を語りかけてくるようである。



▲ジョン・トランブル画「議会への独立宣言書の提出」



**奈良のヨーコさんをカリフォルニア州サニーベイルにお迎えして**  
**ホストファミリー：クリス・ターパー Krys Cooper**  
**地域分科会：サウスベイ**

私の人生において、深く心に響いた出来事というのは、ほんのわずかしかなかった。でも、ヨーコさんをお迎えし、私たちの人生を彼女と分かち合えたこと（そして、彼女も人生を私たちと分かち合ってくれたこと）は、まさにその一つです。彼女が到着した瞬間から、私と私の家族は彼女を心から受け入れそのおかげで、大好きな料理をもっと作る機会も得ました。ついに10分卵（スクランブルエッグ）のレシピを完璧にマスターし、初めてチキンマルサラを作って大成功しました。子どもたちは、ヨーコさんが日本から「名誉おばあちゃん」として来てくれたことをとても喜んでいました。私たちは、奈良の伝統と人々の優しさに深く敬意を抱いています。いつかヨーコさんに会いに奈良に行きたいと思っています。

**福島からの生徒をお迎えして**

**ホストファミリー：ミトシ・フジオ・ホワイト Mitoshi Fujio-White**  
**地域分科会：葛尾中学校プログラム**

娘と私は、福島県出身の中学生のホストファミリーになりました。ホストファミリーは初めての経験で、彼女が到着するまでは少し不安でした。私たちのことを気に入ってくれるだろうか、私たちの家を気に入ってくれるだろうか、と。事前のビデオ通話中には、彼女も緊張していると話してくれました。到着すると、彼女はとても興奮していました。時間は限られていましたが、一緒にやりたいことはたくさんありました。車に乗るたびに彼女は眠ってしまいましたが、一方で私たちが用意したものには何にでもチャレンジしていました。サッカーの試合観戦は初めてと言っていましたが、試合後のパーティーを友達と楽しみ、試合中は他のファンとハイタッチしたりして飛び跳ねました。彼女はそれがとても楽しかったと言っていました。すぐに絆が生まれ、「またね」と言うのがとても悲しかったです！出身地がどこであろうと、不安、興奮、喜び、悲しみ…そして時差ボケ…といった感情は普遍的なものです。

約60時間の間に数え切れないほどの思い出が生まれ、今では太平洋の向こう側に友人がいます。外国からの客人を実際に受け入れて初めて、これまでやってこなかったのがどんなにもったいないことだったのかを理解できました。今は、また次の機会を待ちきれません！



※原文は CIE-US "Newsletter" Back Issues 07/26/2025 をご覧ください▲  
<http://www.manjiro.or.jp/e/foundation/cie-us.html>



**フィラデルフィア大会参加を  
 より楽しむためのプチ知識**

『ペリーの草の根交流ブログ』より



**フィラデルフィアから日本人への贈り物 [要約]**

1854年、マシュー・C・ペリー提督による日米交渉の終盤、日本人に思いがけない贈り物が披露されました。それは、米国フィラデルフィアで製作された蒸気機関車の4分の1サイズの可動式模型と、全長約1.6キロの円形線路でした。技師ロバート・ダンビーが組み立て、幕府の役人たちは不安を抱えながらも乗車します。やがて小さくも精巧な機関車が蒸気笛を響かせて走り出すと、着物を風になびかせた彼らは、子どものように歓声を上げました。アメリカで列車を経験していた万次郎を除き、これが日本人にとって初めての鉄道体験となったのです。

この模型は、約250年に及ぶ鎖国によって技術的に立ち遅れている現実を印象づける狙いも持っていました。その効果は大きく、日本人に近代技術への強い関心呼び起こします。機関車はスプリング・ガーデン通りのノリス社で製造されましたが、



1854年3月13日、横浜の環状線路上を走るミニチュア蒸気機関車  
 出典：ブラウン大学デジタルコレクション

後に日本で火災により焼失しました。それでも日本は急速に鉄道技術を吸収し、やがて世界を驚かせる鉄道大国へと成長します。この蒸気機関車は、単なる贈り物を超え、日米両国の友情と近代化への歩みを象徴する出来事となったのです。今年のフィラデルフィア大会は、その歴史を踏まえ、日米の絆を未来へとつなぐ交流の場となるのです。

※全文は掲載サイトをご覧ください。……………  
<https://www.grassrootssummit.net> 「ペリーの草の根交流ブログ」



Japanese Hospitality Wherever You Fly



寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate Sponsors of CIE Japan

**AISIN**

株式会社アイシン  
AISIN CORPORATION

**AICHI STEEL**

愛知製鋼株式会社  
AICHI STEEL CORPORATION

**JTEKT**

株式会社ジェイテクト  
JTEKT CORPORATION

**ANA**

全日本空輸株式会社  
All Nippon Airways Co., Ltd.

**DAIKIN**

ダイキン工業株式会社  
Daikin Industries, Ltd.

**DENSO**

株式会社デンソー  
DENSO CORPORATION

**DOUTOR**

株式会社ドトルコーヒー  
Doutor Coffee Co., Ltd.

**豊田合成**

豊田合成株式会社  
TOYODA GOSEI CO., LTD.

**TOYOTA**

トヨタ自動車株式会社  
TOYOTA MOTOR CORPORATION

**豊田自動織機**

株式会社豊田自動織機  
Toyota Industries Corporation

**豊田通商**

豊田通商株式会社  
Toyota Tsusho Corporation

**TOYOTA  
FINANCIAL SERVICES**

トヨタファイナンシャルサービス株式会社  
TOYOTA FINANCIAL SERVICES CORPORATION

**トヨタ紡織**

トヨタ紡織株式会社  
TOYOTA BOSHOKU CORPORATION

**HINO**

日野自動車株式会社  
Hino Motors, Ltd.

**FKD | FUKADA  
DENKI**

地球と手をつなぐ、電材カンパニー。  
深田電機株式会社  
FUKADA DENKI

**FUJITSU**

富士通株式会社  
Fujitsu Limited

**brother**

ブラザー工業株式会社  
BROTHER INDUSTRIES, LTD.

**SMBC 三井住友銀行**

株式会社三井住友銀行  
Sumitomo Mitsui Banking Corporation

**森村豊明会**

公益財団法人森村豊明会  
MORIMURA HOUMEIKAI FOUNDATION

北海道通信ビル株式会社  
HokkaidoTsushinBldg Co.

T.S



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念  
国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative  
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602  
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimachi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan  
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175  
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp